

一、堀沢山—またぎの足跡

むかし大徳坊という法印がおつて、たいそう徳のたかい法印で、七つ森をひとまたぎで飛んだという。その証拠のわらじの跡が、堀沢山の頂上からさがったところの東塚山にあつて、今も三尺位の水たまりが残っている。

二、蛇神の祠

女神山の東面、明神社社の裏参道をのぼると、中腹に蛇神をまつた石づくりの祠堂がたつている。この蛇神が女神山を七曲り半とりまいているという。そこは卵をたべてのぼつてはならないし、横道から上で蛇を殺すことも禁じられている。なお、頂上に参けいするときは卵を献上している。

三、雨ふり岩

女神山の頂上には雨ふり岩があつて、ここの岩にのぼると、雨が必らずふると言い伝えられていた。雨乞いの日は、蓑笠でのぼり、この雨ふり岩にのぼり竜神に祈願していた。巨大な岩である。